

優 スピード門 団体 男女とも 勝 ホッケ一門 女子 13年ぶり

全日本学生ローラー
スケート選手権大会
10月7〜9日、長
野市・千曲川リバー
フロントスポーツカ
ーデン

専大は男女ともにスピー
ード部門で優勝。ホッケ
ー部門では男子は1回戦
敗退となったものの、女
子は13年ぶりの優勝を手
にした。

スピード部門では男子
300級で田中潤(商4
・八王子桑志高)、同5
00級・永井尊瑠(経済
2・調布南高)、女子3
00級で川畑有彩(文2
・専大附属高)が1位。
男女ともにリレーでも1
位と好成績を残した。

ゴール前の混戦から得点
を狙う女子ホッケー部
門決勝・立教大戦

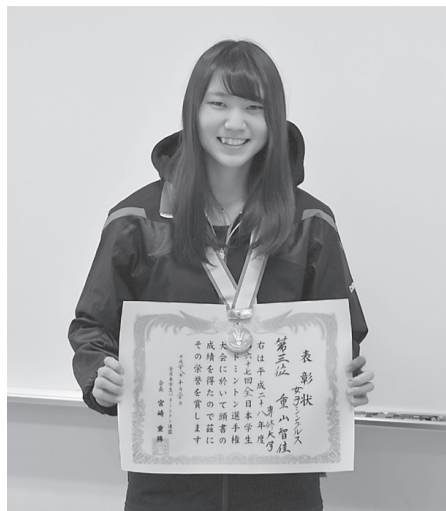
新主将の森遼太郎(法
3・静岡聖光学院高)は
「今年の日本代表にも入
っている座間天平(文1
・船橋芝山高)の加入が
大きい。彼に刺激され練
習に励んで来たことで下
級生の実力が伸び、チー
ム全体のタイムがよくな
った」と語った。

女子のホッケー部門優
勝については「1年次生
がレギュラーに入ってい
るが4年次生を中心によ
くまとり、他大学の4
年次生主体のチームを相
手に一丸となって戦った
ことが結果につながった



「上野夏帆・文2」

賞状を手に笑顔の重山



全日本学生バドミントン
選手権10月14
〜20日、千葉市・千
葉ポートアリーナほ
か

重山はこれが個人では
初の入賞。「3回戦で龍
谷大の朝岡依純選手と戦
うことが目標で、それ以
外は考えてなかった。正
直実感があまりない」と
して重山智佳(文3・聖
ウルスラ学院英智高)が
よかった。

重山3位入賞 個人戦 女子単

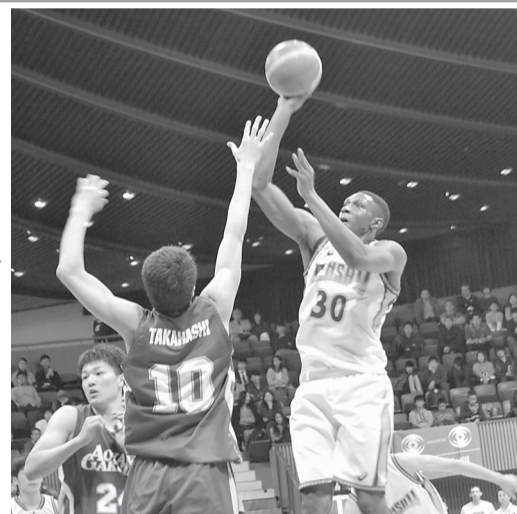
しかし今大会では朝岡
選手に勝ったばかりで
どの試合を2-0で制す
など、相手を圧倒した
試合が多い。それでも本
人は満足しておらず「今
回は受け身の試合が多か
ったので、次回は勝ち負
けを気にせず、相手に向
かっていくバドミントン
をしたい」。

11月28日から行われる
全日本総合選手権(代々
木第二体育館)に向けて
気を引き締めた。
(村田侑晟・文2)

9勝9敗 4位

関東大学バスケット
ボールリーグ戦11
月3日〜10月30日、
代々木第二体育館ほ
か

敗の4位。しかし、個人
ではアブ・フィリップ
(経営1・アレセイア湘
南高)が得点(397
点)、リバウンド(273
本)、ブロック(41本)、
出場時間(3万6163
秒)の4部門で1位と、
インパクトを残した(記
録は全18試合の合計)。
2位に得点は80点差、
リバウンドは93本差と、
突出した数字を残したフ
ィリップは、最終・青学
大戦でも26得点・20リバ
ウンドと活躍。17得点
・11リバウンド・4アシ
スト・3スティールとチ
ームを支えた渡辺竜之佑
(経営4・福岡第一高)



長身を生かし、ブロックの上からシュートを放つ
フィリップ(青学大戦、撮影・高岡要(経済2))

来季も1部でプレー

東都大学野球秋季リ
ーグ戦1、2部入れ
替え戦11月6、7
日、神宮球場

一転して投手戦。堀田竜
也(経営3・常葉学園菊
川高)が一人で投げ切
り、0-0で九回裏へ。
代打攻勢で1死満塁の場
面を作ると、打席には伊
與田一(経営4・明德
義塾高)。今秋は1割5
分8厘と苦しんだ副主将
が最後に意地を見せ、ラ
イオハサヨナラ安打を放
ち、1-0で勝利した。
自らのバットで残留を
決めた伊與田は「抜け

秋リーグ戦は最下位
に終わった専大。入れ替
え戦では2部1位の国士
館大を2連勝で降し、1
部残留を決めた。
初戦は森山恵佑(商4
・星陵高)が2点本塁打
を放つなど打線が機能し
14-1で大勝。2戦目は
決めた伊與田は「抜け



試合後、声援に応える伊與田
(右端)ら(撮影・飛田翼)

3勝8敗9位

秋季関東大学バレー
ボールリーグ戦11
月3日〜10月29日、
日体大健志台キャン
パスほか

日体大との開幕戦を落
とした専大はその後も波
に乗れず、3勝8敗でリ
ーグ戦を終了。4校が8
位で並んだが、セット率
の結果、9位となった。
次は大学日本一を決め
る全日本大学選手権(11
月28日〜12月3日、名古屋
市・稲永スポーツセン
ターほか)。1回戦で大
阪学院大と対戦する。

「箱根」逃す

東京箱根間往復大学
駅伝競走予選会11
月15日、東京都立川
市・国営昭和記念公
園

専大は3年ぶりの予選
突破を目指したが、総合
14位に終わった。

序盤からエースの丸山
竜也(商4・専大松戸高)
が先頭集団につけチーム
を引っ張ったものの後が
続かず、予選通過の10位
からはタイムが開き、悔
しい結果となった。

個人8位でゴールした
丸山が2年連続で関東学
生連合に選ばれた。「1
区」を希望していると話
す丸山の雄姿に期待しよ

インカレかけ プレーオフへ

関東大学サッカーリ
ーグ戦(後期)11
月10日〜11月13日、
東京都・味の素フィ
ールド西が丘ほか

8勝6分(8敗)勝ち
点30で7位。12月の全日
本大学選手権(インカ
レ)の出場権を得る6位
にはあと一歩で届かなか
った。インカレの出場を
かけた新潟医療福祉大と
のプレーオフ(11月19
日、長野県松本平広域公
園総合競技場)で勝利を
目指す。

(谷田祐樹・法2)

90周年和やかに

ボクシング部

ボクシング部の創部90
周年記念式典が10月15
日、東京都港区のホテル
で開催された。藤巻武
B会長(昭43商)、並木信
明部長(文学部教授)をは
じめ卒業生、大学関係者
ら約100人が出席。W
BC世界バンナム級チャ
ンピオンの中慎介さん
(平17商(帝拳))のビデオ
メッセージが上映され
るなど、会場は終始和や
かな雰囲気、思い出話
に花を咲かせた。

最後に小坂則夫監督か
ら現役部員が紹介される
と、OBたちから激励の
声が上がった。



得意のバットでカップを狙う榎山

男子(6983ヤード
11パー71)は全16校が出
場。各校5人がエントリ
ーし、上位4人の合計ス
コアで争われ、専大は合
計586で6位だった。
初日は榎山勝弘(商1
・拓殖大学紅陵高)が2ア
ンダーの69をマークする
など、エントリリーした選
手がそれぞれ好スコアを
記録。5位で終え、上位

を狙える位置につけた。
しかし2日目は午後か
ら雨が降り、気温が13度
に下がりプレーコンディ
ションは最悪。ここまで
好調だった選手も調子を
崩し、順位を落とした。
大学生活最後の大会と
なった岩本一陽主将(経
営4・金沢学院東高)は
「2日目は調子を崩して
思うように回れなかつ
た。最後の大会を気持ち
よく終えることができな
かったが、後輩たちには
自分たちができなかった
信夫杯優勝に向け、頑張
ってほしい」とエールを
送った。

(飛田翼・文2(写真))

「2日目は調子を崩して
思うように回れなかつ
た。最後の大会を気持ち
よく終えることができな
かったが、後輩たちには
自分たちができなかった
信夫杯優勝に向け、頑張
ってほしい」とエールを
送った。

(飛田翼・文2(写真))

創立50周年祝う
少林拳法部

少林拳法部の創部50
周年記念式典が10月15
日、東京都台東区のホテル
で開催された。日高義
博理事長をはじめ大学関
係者、来賓、卒業生ら約
300人が出席し、盛大
に節目を祝った。

緑拳会(同部OB会)
の星野衛会長(昭46商)
が50年の歩みを紹介し、
尽力された先輩方に感謝
の言葉を伝えた。少林寺
拳法グループの宗由貴総
裁のあいさつに続き、長
年にわたり部長として部
を支えている松原朗文学
部教授に感謝状が贈られ
た。また、現役部員を代
表して渡慶次道瑠主将
(経営4・座間高)・鈴
木佑菜(人間科学2・成
田国際高)組が奉納演武
を披露した。